



11月4日、街道東城路（東城市街
地）周辺で、伝統行事「第30回お通
り」が開催され、約2万人が沿道に
集まりました。

「お通り」は、慶長6年（1601
年）に東城五品嶽城主だった長尾
隼人正一勝（読み方は諸説あり）
が、関ヶ原の戦いの戦勝祝いとして
始めたのが起源とされ、大名行列、
武者行列、母衣、華童子からなる行
列を組みます。平成5年から、お通
り保存振興会によるイベントとして
開催されるようになり、今回30回の
節目を迎えました。

お通り

写真の説明

①総勢34人の武者行列 ②本陣（東
城小グラウンド）での大名・武者合
同演武 ③武者鉄砲隊演武 ④⑦⑩
矢よけの武具が起源とされる「母
衣」を背負った子どもたち ⑤総勢
33人の大名行列 ⑥福島正則をモデ
ルとする殿と2人の「お通り姫」、
長刀隊 ⑦武者行列の先頭を歩く
「太鼓」 ⑧長尾隼人正一勝をモデ
ルとした大将と副将 ⑨保育所年長
児による「華童子」 ⑩「母衣」を
背負う子どもは男女問わず化粧を施
す



5

6

7

1

2

3

4

11

9

8

12

10